



柔軟な休暇制度、就業時間制度で 社員の豊かな生活を支援

「性別・年齢・国籍による差別の撤廃」を方針とし、男性も女性も活躍できる職場づくりを行うとともに、仕事と家庭生活を両立させるため充実した制度を推進。女性として初の管理職に登用された総務部長原純子さん、制度の運用に取り組み総務部総務課課長宮崎秀二郎さん、そして育児休業を取得しつつ職務に励む名取系子さんにお話を伺いました。

こんなことに取り組んでいます

育児休業に関するサポート

育児休業中の職員へ情報提供（社内報、新製品の紹介等）を行いコミュニケーションを図る

有給休暇の積立制度

本来失効する有給休暇を積み立て、育児や介護など自由に利用することができる

選択勤務制度

4時間勤務、6時間勤務などの短時間勤務、フレックス勤務など三つの勤務時間が選択可能

「三つの職種」のための取組 その一つである女性登用

朝日レントゲン工業は、歯科用X線装置を取り扱う、業界でも数少ない専用機器メーカーであり、機器のデジタル化など日々進化する歯科医療技術を支え、国内外から高い評価を受けています。

当社は、代表取締役社長井野春重さんが「性差別をなくす・年齢差別をなくす・国籍差別をなくす」の「三つの撤廃」を掲げ、その取組の一つとして、初の女性管理職に現総務部長原純子さんを登用しました。原さんは「私が女性管理職となったことで、会社全体に「女性でもできるのだ」という意識の変化が現れたと思います」と語ります。また、営業職の中に製品の設置や説明などを担当する「インストラクター」という役割を置き、女性の活躍の場を広げました。製品がデジタル化、複雑化したことからアフターフォローが必要になり、こうした新しい役割の需要が生まれた

のです。インストラクターの設置については業界・市場で反響があり、現在は6名の女性インストラクターが活躍、平成22年度も採用を控えています。もともと一般職や総合職の区別がなく男女平等の下地があったという朝日レントゲン工業 総務部総務課課長宮崎秀二郎さんは「会社に元々あった下地を大切に、これからは垣根をなくすことにとどまらずチャレンジしていきたいですね」と意気込みを語ります。

仕事と家庭生活の両立のため、 個人を大切にしたら就業制度

インストラクターの第一号である名取系子さんは、二人のお子さんを持つ育児休業取得者でもあります。「職場復帰して、すぐにまた二人目を妊娠しました。周りが「おめでとー」と祝福してくれて安心しました」と名取さん。会社は育児休業制度を平成元年に制定。また、休業取得者と電話や社内報でコミュニケーションを図ることで職場復帰をサポートしています。さらに、就業時間内の1時間を使います。さらには、就業時間の前後に出勤し、午後30分早く勤務を終えることで、保育園の送り迎えなどが可能になりました。「彼女たちにも読んで欲しい」と原さんは語ります。名取さんは「子育て中はいろいろな人に頼らざるを得ません。だから普段からコミュニケーションを大切にしています。今、後輩に頼ることが多いですが、今度は

私が後輩を支えてあげたいですね。後輩たちにも家庭を持つてもらいたいです」と、制度が次の世代へ引き継がれていくことを願っています。

また、仕事と家庭生活の両立支援として、6時間勤務や4時間勤務などを選ぶことのできる選択勤務制度や、失効してしまっている有給休暇を積み立てることのできる制度がつけられています。40日間の積立有給休暇、さらに有給休暇40日を足せば最大で約4ヶ月、子どもや親の看病、介護のために、安心して休暇をとることができるのです。就業時間、休暇期間を柔軟にすることで社員がゆとりある生活を営むことができます。

理想の会社を 社員でつくりあげる

「仕事と家庭生活の両立は難しい。だからこそもっと制度を充実させていきたいです。ノー残業デーや育児休業の延長、あと子どもを送り迎えが楽になるように保育園との連携などを実現できたらいいなと思っています」と熱く語る原さん。

また、女性の登用に関しては「素質があると思う人はどんどん登用するべきだ」と思っています。ただし、本人の負担にならないよう周りがしっかりサポートする必要があります」と、自らが管理職になった時の体験もまじえて語っておられました。

今後、更なる仕事と家庭生活の両立支援と女性の登用を推進し、社員が一体となって理想の会社づくりに取り組んでいきます。

朝日レントゲン工業株式会社



設立 1956年(昭和31年)5月29日
資本金 1億円
代表取締役社長 井野春重
従業員数 161人
本社 〒601-8203
京都市南区久世鶴山町376-3
URL <http://www.asahi-ray.co.jp/>

「最近の女性は優秀でアツて心強いです。」
総務部総務課課長 宮崎 秀二郎さん



「管理職になることで視野が広がりました。」
総務部長 原 純子さん



「名取さん、お名前が素敵です。」
営業部 名取 系子さん

全社員が豊かな 明日を追及する



代表取締役社長 井野 春重さん
労働人口の減少により、社会はより女性の力を必要としています。また、会社を支える社員全員が豊かにならなければ会社の意味はありません。企業は、経営だけでなく、社員も豊かになる支援をしていく必要があると考えています。

あなたの会社も「男女共同参画推進宣言」してみませんか。詳しくは9ページをご覧ください。